

令和6年度 第3回浦川原区地域協議会 次第

日 時 令和6年7月30日(火)
午後6時30分～

会 場 浦川原コミュニティプラザ
市民活動室4・5

1 開 会

2 協議事項

(1) 前期委員の申し送り事項について……資料 No1

3 その他

4 次回の開催日について

日時 月 日 () 時 分から

会場 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 閉 会 (:)

前期委員の申し送り事項について

1 申し送り事項とは

- ・委員の改選に当たり、現委員による自主的審議を経て市長へ意見書を提出した案件及び地域課題として委員から提案のあった案件について、継続審議の検討を次期委員へ申し送るもの。
- ・申し送り事項の取扱いについては、次期委員が協議し審議するかどうかを判断するため、強制力はない。

2 次期浦川原区地域協議会に引継ぐ事項

現委員が任期中に審議した事項や勉強会での経過を踏まえた次期委員への継続協議・検討項目は次のとおり。

① 自主的審議事項

- ・区内の過疎化対策
- ・鳥獣（イノシシ）対策

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・4地区で開催した出張地域協議会の中で一番意見が上がってきたのは、イノシシ対策と過疎化、空き家対策の問題であった。イノシシをどのように駆除していくかが大切で、まだまだ被害が多く駆除の担い手の問題もある。
- ・過疎化対策については、特に谷集落から過疎化や限界集落などの課題が出された。地域協議会では、長野県信濃町から講師を招いて研修会も実施されたわけであり、今後も研修会があると思うので、それらを通じて過疎化をどのように食い止めるかを議論していただきたい。

② 東頸中学校生徒との意見交換会（ワークショップ）

- ・浦川原区地域協議会が平成26年から実施してきた中学生との意見交換会は、大変有意義なものであることから、事業の趣旨を踏まえ、大島・浦川原・安塚3区の中学校統合後も、本事業を継続していただくよう、大島・安塚両区の地域協議会と協議していただきたい。

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・これまで10年ほど中学生との意見交換会を実施してきた。今年は少し良い方向性になったと感じたところであり、今後、大浦安をテーマに、安塚区、大島区の地域協議会委員の皆さんと一緒に、3区の中で課題を探していただき、意見交換すればよいのではないかと考えている。
- ・今の中学生は我々が気付かないところにも気付いていて、優秀であり、すごいと感じているので、ぜひ、続けていただきたいと思っている。

③ 文化の継承

- ・文化の継承には、地域の人に見てもらわなければならないと思うので、各団体それぞれの考えもあると思うが、披露する場の確保に向けて各方面に働き掛けを行ってほしい。

④ 意見交換会

- ・懇談会の開催に当たり、テーマを設定し地区で意見をまとめられるようにするなど、より意見を引き出せるような意見交換会のあり方を検討してほしい。

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・区内4地区での意見交換会を実施したが、特に最後に開催した末広地区では、その場で行政への要望は出さないでほしいというような要請をしたことで、皆さんからの意見が全然出てこなかった雰囲気があったので、事前にテーマを示してから皆さんから意見を引き出せるような意見交換会にさせていただくことを検討していただきたい。

⑤ 地域協議会

- ・委員が互いに率直な意見を述べ、意見交換を行うことにより、議論が深まり、地域協議会が活性化すると考えるので、部会、小グループなどに分かれてフリートークができる場を設けられるよう、任期の初めに議論していただきたい。
- ・地域協議会委員の資質の向上を図るための研修会と、住民への啓発として公開講座(研修)等を開催すること。

⑥ ほくほく線の利用促進及び利便性向上について

- ・新幹線上越妙高駅への直接乗り入れ本数を多くすることについて、北越急行(株)任せでなく、住民の声を反映させていくことを協議し、実現に向けて審議を継続する。
- ・JR黒井駅への停車本数を多くすることについて、SDGsの観点で利用促進を図る。
- ・新車両については、必ず車内トイレを設置すること。
- ・ほくほく線駅舎の利活用について、さらなる審議を進めることをお願いしたい。

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・北越急行(株)任せではなく、住民の声を実際に反映させていけるような審議が必要である。我々が赤字を解消することはできないが、大糸線のように廃止の話が出てから腰を上げて遅いと思っている。
- ・先人が100年かけてやっと開通したほくほく線が、35、6年で電車が走らなくなってしまうこともあり得る。国や自治体からもこの路線の大切さを認知してもらえそうな方策を、浦川原区の中で実施していただきたい。

⑦ 浦川原区における「地域活性化の方向性」について

- ・大島区・安塚区・牧区・三和区等近隣の区と比較して、交通網が恵まれている。このことを宣伝するとともに、各町内会に呼び掛け「空き家の再利用」「耕作放棄地の利用」「観光事業」等を地域の独自予算により活性化していけるよう諸団体の育成を図る。
- ・田んぼダムにちなんで、農業の担い手不足や地元農業の安定した経営が出来るような仕組み作り、区独自の取組などを検討願いたい。
- ・地域活性化の方向性に掲げられている商店及び飲食店の新規開店を促進し、人口減少に歯止めをかけていくというのは非常に難しい案件であるが、引き続き検討をお願いしたい。

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・浦川原区でも空き家が増えていることから、一般参加で研修会を開催したところである。交通に恵まれているという地の利を生かしながら、地域の活性化について協議していただき、諸団体との連携を図っていただきたい。

⑧ 予約型コミュニティバスについて

- ・予約型コミュニティバスの導入に伴う利便性や問題点の洗い出しの検証をお願いしたい。

【補足】令和5年度第12回浦川原区地域協議会会議録より抜粋

- ・浦川原区でも来年度（令和6年度）から運行が開始されるため、この運行結果を見て、再度洗い直しをしてから検証していこうということである。
- ・この予約型コミュニティバスについて、事業を実施している行政側でチェックしていくと思われるが、我々もデータをいただきながら検討していきたい。